

理研シンポジウム： デカリン化合物の化学合成と生合成

開催日：2019年8月6日（火曜日）13：00～

会場：理化学研究所 和光事業所 梅太郎ホール
（埼玉県和光市広沢2-1）

主催：理化学研究所 環境資源科学研究センター ケミカルバイオロジー研究グループ

共催：ケミカルプローブプロジェクト

参加費：無料

概要

デカリン（デカヒドロナフタレン）骨格は天然物によく見出される生理活性を持つ部分構造の1つである。その不斉点を多く含む複雑な骨格構造は、化学合成や生合成研究の格好の標的であり、現在盛んに研究が行われている。そこで今回、デカリン化合物をキーワードに、天然物化学や合成化学、生合成、計算化学、さらには構造生物学の分野から研究者を集めワークショップを開催する。

【プログラム】

座長 田中克典（理研 田中生体機能合成化学研究室）

山田陽一（理研 CSRS グリーンナノ触媒研究チーム）

13：00～13：25（20分+5分）

長田裕之 副センター長（理研 CSRS）

「微生物由来デカリン含有化合物のケミカルバイオロジー」

13：25～13：50（20分+5分）

野川 俊彦 研究員（理研 CSRS）

「糸状菌からのデカリン含有化合物の単離と構造」

13：50～14：40（40分+10分）

菅 敏幸 教授（静岡県立大学薬学研究院）

「UCS1025A とピロリジラクトンの合成研究」

14：40～15：30（40分+10分）

椎名 勇 教授（東京理科大学理学部）

「天然オクタリン AMF-14 およびその類縁化合物の全合成ならびに生物学的研究展開」

15：30～15：45（15分）

コーヒーブレイク

15 : 45 ~ 16 : 10 (20 分+5 分)

加藤 直樹 研究員 (理研 CSRS)

「立体選択的[4+2]環化付加反応を触媒するデカリン合成酵素の機能解析」

16 : 10 ~ 17 : 00 (40 分+10 分)

永野 真吾 教授 (鳥取大学大学院工学研究科)

「デカリン骨格を構築する Diels-Alderase の X 線結晶構造解析: 立体化学の制御メカニズムの解明を目指して」

17 : 00 ~ 17 : 50 (40 分+10 分)

内山 真伸 教授 (東京大学大学院薬学研究科)

「理論計算による生合成経路の探索」

17 : 50 閉会の挨拶

長田裕之 副センター長 (理研 CSRS)

意見交換会 18 : 15 ~ 於 : 広沢クラブ (一般:3000 円、学生 2000 円)